

## 目的

「実践型海洋教育の先進的モデル拠点」を目指し、関係人口や連携先をさらに拡大・安定化。助成率は95%に。

## 目標

- ①参加者・連携先の幅を広げる（中高生、大学生、大人、企業・自治体・高等教育機関等）
- ②運営を安定化させる（水槽機器入れ替えや遠隔監視システム導入。講座やイベントの開催時期を分散）
- ③仲間づくりをして、活動の新しい芽を育てる（「海洋教育推進会議」で一堂に会し、語り合う）
- ④広報を強化する（毎月1回話題創出）

## 2023年度実施内容のまとめ

### 実施①



【はこだてOceans】

海の教室として初めて中高生を対象とした大規模講座を実施。海と接する機会がほとんどない中高生に海体験を提供。

### 実施②



【海釣り自然塾】

親子向けのほか、日々子どもと接する学童支援員等を対象に実施。北教大の先生と学生も参加し、参加者の幅を広げた。

### 実施③



【子ども海そうアカデミー】

単発ではなく、全3回の連続講座を行うことで、海藻を通じて海の学びや未来をより深く考える機会を提供。

## 量的成果（事業の拡がり）

- ① メディア露出実績：テレビ放送3回、新聞掲載12回。  
特に、はこだてOceansは転載PV数は5,500超を記録。
- ② 17回の講座・イベントを実施。はこだてOceansは3日で定員20名達成、親子de海釣り自然塾は定員に対し約10倍の147組から応募が集まる。
- ③ 講座参加者からの参加料収益が増加。  
2022年度117,000円→2023年度161,000円

## 質的成果（次なる展開への芽）

- ① 話題性の高い大泉潤函館市長が朝市ミニ水族館リニューアルセレモニーにて、「函館が海のまちだと知ってもらうすばらしい機会」と評価し、テレビで放送。
- ② 中高生向け講座の実施により、新たな参加者の幅を広げるに限らず、つながりを持ち続ける施策として「はこだて海活部」を組織。来期の発展も構想。
- ③ 地域連携強化：地元資源に価値を見出す活動をする「ローカルレボリューション」、ローカル番組の有名釣りコンビ「浜ちゃん&スーさん」、北海道教育大。

## 2023年度 課題点

- ① 中高生に対する海洋教育のニーズはあるが、機会が少ない。
- ② 深い学びコンテンツを提供したいが、一方で拘束時間や日数が多くなると集客が難しくなる。
- ③ 屋外のイベントが多いので天候に左右されやすい。

## 2024年度 改善点

- ① 中高生対象の海洋教育機会を提供する。
- ② チラシだけでなく、説明会などを実施し、中高生が進学する際に有効な課外活動となることを説明する（AO入試に役立つなど）。
- ③ 荒天となった場合の回避策として、屋内プログラムを確立する。

## 報告資料



4月に就任したばかりの太田潤 函館新市長が参列。マスコミ5社が集まり、大きな話題となった



海藻を通じて、函館の海の学びをさらに深める「子ども海そうアカデミー」を参加者固定の3回連続講座で実施



中高生を対象とした海体験イベントを初実施。想像以上に中高生の熱量が高く、海との接点がないことも明らかに



ケーブルテレビで15年以上続く番組「釣りバカ2」に開始当初から出演する鈴木遊介さんと新たに連携



昨年度実施した海の発信者育成を拡充し、中学生の参加も可能に。昨年同様、レベルの高い講習を実現するとともに、アウトプットを小学生向けの授業に



「はこだて海洋教育推進会議」を実施。教育関係者を中心に参加者を募り、新しい芽を育てるきっかけとなった。

# メディア露出

## 各メディア露出（2023年度実績）

- ◇TV放送回数 計**3**回
- ◇新聞掲載回数 計3社**12**回
- ◇WEB掲載 計**517**回、約**13,000**PV
- ◇イベント数 **17**回
- ◇参加者数 **500**人以上

## ▼TVクリッピング映像（クリックで再生）

NHK北海道「函館朝市ミニ水族館」

<https://storyteller.box.com/s/b6buw97sn4onrzwcasog8topisu3nf5i>

# テレビ露出 計3回

イベント	媒体名	番組名	放送日
函館朝市ミニ水族館	NHK	全道ニュース	4月29日
函館朝市ミニ水族館	HTB	北海道ニュース	5月5日
函館朝市ミニ水族館	STV	函館市民ニュース	5月13日

### NHK 全道／道南



### HTB北海道ニュース



### STV函館市民ニュース



## 新聞掲載回数 計12回

①函館朝市ミニ水族館	函館新聞	5月1日
②函館朝市ミニ水族館	北海道新聞	5月3日
③子ども海そうアカデミー	北海道新聞	5月15日
④水族館飼育員体験	北海道新聞	6月5日
⑤教育者向け海釣り自然塾	北海道新聞	9月5日

メディア露出格納先  
BOXはこちら

### ③子ども海そうアカデミー／北海道新聞



### ④水族館飼育員体験／北海道新聞



### ①函館朝市ミニ水族館／函館新聞



### ②函館朝市ミニ水族館／北海道新聞



### ⑤教育者向け海釣り自然塾／北海道新聞



# 新聞露出

⑥親子de海釣り自然塾	函館新聞	10月1日	⑩はこだて海洋教育推進会議	北海道新聞	3月8日
⑦海のコミュニケーター	北海道新聞	10月18日	⑪はこだて海洋教育推進会議	函館新聞	3月21日
⑧函館朝市ミニ水族館	読売新聞	1月1日	⑫はこだて海洋教育推進会議	北海道新聞	3月27日
⑨函館朝市ミニ水族館	北海道新聞	2月29日			

## ⑦海のコミュニケーター／北海道新聞



「海の授業」に参加した小学生と講師の中高生

◆函館の海の魅力、小学生に伝える。道南の中高生が函館の海に潜って撮影した動画を教材として、小学生に函館の海の魅力を伝えるイベント「海の授業」が、

「海と日本 PROJECT」に参加した小学生と講師の中高生

はこだてみらい館(若松町)で開かれた。

一般社団法人ブルーコンニャパンが「海と日本プロジェクト」の一環として9月30日に実施した。公募で選ばれた道南の中高生8人が南茅部町の海に潜って撮影した魚や海藻などの生き物を撮影した動画を見せて、小学生の参加者たちが理解を深めた。

海の生物にまつわるクイズや海流についての講義も行われ、参加した函館市内の小学生山村優吏さん(11)は「クイズや映像などを通じて今まで知らなかった海のことを知ることができた」と満足そうに話した。

今回授業を行った函館市内の中学生藤本健吾さん(12)は「函館の海は魅力がたくさんある。素晴らしい場所に住んでいることを実感してほしい」と語った。(坂本麻保)

## メディア露出格納先 BOXはこちら

### ⑥親子de海釣り自然塾／函館新聞

このほか、おさかな専門シンガー・ソングライターで「北海道おさかなの先生」として活動する宮崎いづみさん(34)から、函館近海に生息する魚の姿や海流、イサナのつらやなど、の解説を受けた。函館の任意団体「コーカシボウイション」代表の岡本啓吾さん(37)は「ハコダテアンチポ市の作り方を紹介し、北江市の飲食店「ポツケテ」のメニューが調理したタココスを試食した。

参加した函館高小4年生の石井啓君(9)は「結構楽しかった。大きなマイワシが釣れて良かった。また釣りに行きたい」と話している。(市丸和秀)



食文化を切り口にした海洋教育に取り組み一般社団法人ブルーコンニャパン(函館)は9月20日、函館近海で小学生保護者を対象とした「親子de海釣り自然塾」を開催した。

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、緑の島では「ケーブルテレビ」局NVCの約の番組制作の海で小学生保護者を対象とした「親子de海釣り自然塾」を開催した。

1度に2匹を釣り上げて喜ぶ参加者

### ⑧函館朝市ミニ水族館／読売新聞



函館朝市に展示されている函館近海で水揚げされたゴッコ(小葉松隆撮影)

水槽の中に地元の海

子ども向け海洋教育の事例発表会。子ども向けの海洋教育の事例発表会。子ども向けの海洋教育の事例発表会。

### ⑨函館朝市ミニ水族館／北海道新聞



水槽の中に地元の海

函館朝市ミニ水族館

ゴッコ ガラスにべたり

函館朝市ミニ水族館

函館朝市ミニ水族館

### ⑩はこだて海洋教育推進会議／函館新聞



子ども向け海洋教育の事例発表会。子ども向けの海洋教育の事例発表会。

函館朝市ミニ水族館

函館朝市ミニ水族館

### ⑫はこだて海洋教育推進会議／北海道新聞



海洋教育 子どもから

函館 推進会議で事例紹介

子ども向け海洋教育の事例発表会。子ども向けの海洋教育の事例発表会。

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として実施した。事例発表会では、道南の中高生が函館の海に潜って撮影した動画を上映し、小学生の参加者たちが理解を深めた。

道南の中高生が函館の海に潜って撮影した動画を上映し、小学生の参加者たちが理解を深めた。

ニュースタイトル	転載数
中高生が水中動画&写真を撮影し、「海の授業」を作る企画も5年目の『はこだて海の教室』2023年度実施内容決定	28
【水そうどうでしょう】大泉潤 函館市長が昆布水槽を除幕 函館朝市ミニ水族館リニューアルセレモニーを開催しました	30
海岸を歩いて海藻に触れ、海藻ランチや板海苔作りでその活用法を学ぶ「子ども海そうアカデミー 春の海そうの森探検隊」を開催しました！	31
プロデザイナーが小学生にポスター作りのノウハウを伝授「お魚お絵かき教室～海と日本プロジェクト～」を開催しました！	28
小学生が函館朝市ミニ水族館で魚のお世話！「水族館飼育員体験～海と日本プロジェクト～」を開催しました	29
中高生が自分で撮影・編集した海中映像で小学生に授業を行う海洋教育講座「海のコミュニケーターになろう」参加者募集	38
せっかく海チカの函館にいるんだから、海を楽しまなきゃもったいない！1日かぎりの部活「はこだてOceans」参加者を募集！	38
函館の中高生が磯での生き物観察と釣りで「近くて遠い海」にふれる1日かぎりの部活「はこだてOceans」を開催しました！	35
海洋体験は磯観察やビーチコーミングだけじゃない！専門家に学ぶ『児童教育×海釣りの可能性』を開催しました！	35
昆布日本一のまち・函館で、昆布に一番詳しい小学生になろう「子ども海そうアカデミー 目指せ！コンブの博士ちゃん」を開催しました！	28
「まさかよ～！」イワシ爆釣の函館で、釣った魚を試食&海を学ぶ「親子de海釣り自然塾」を開催しました！	31
函館の海に潜って映像と写真を撮影した中高生が自ら講師を務める 小学生向け「海の授業」イベントを開催しました！	31
函館の小学生が未利用海藻を活用した調理実習にチャレンジ「子ども海そうアカデミー 海そうシェフになろう！」を開催しました！	27
海洋教育への助成制度と実践事例を紹介する教育者向け「はこだて海洋教育推進会議」を開催！	25
函館の冬の魚「ごっこ」を水槽展示&プロカメラマン撮影の海中映像上映 函館朝市ミニ水族館 冬の企画展示が始まりました	32
海洋教育への助成制度と実践事例を紹介する教育者向け「はこだて海洋教育推進会議」を開催しました！	51
合計	517

▼通常のリリースに比べて、6倍以上となる約3000PVを記録した「はこだてOceans」のイベントレポート。  
PR TIMESのプレスリリースアワードにエントリーされた。

函館の中高生が磯での生き物観察と釣りで「近くて遠い海」にふれる1日かぎりの部活「はこだてOceans」を開催しました！

2023年8月3日 【場所】函館住吉海岸など

海と日本プロジェクト広報事務局

🕒 2023年8月14日 10時00分



一般社団法人 Blue Commons Japanは、2023年8月3日（木）、函館市ならびに近郊の中学生と高校生を対象に、磯での生き物観察と釣り、海洋の専門家による講話を1日に凝縮して体験する海洋教育プログラム「はこだてOceans（オーシヤンス）」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



・ イベント概要

日時	2023年8月3日（木）9：30～17：30
----	------------------------

## 二次的波及

### <運営面での巻き込み>

- 函館朝市ミニ水族館の機材トラブルが一時的に発生した際、ミニ水族館周辺の店舗の方が連絡をくださった。
- 函館に修学旅行で訪れる中学校や、地元の保育園などから、函館朝市ミニ水族館の見学依頼が増えた。
- 講座に協力してくださった講師の方々が、自身のSNSを活用して参加者募集に協力してくださった。
- 住吉海岸の利用は困難であることを北海道や函館市の担当者から言われたが、函館市漁協が我々の活動趣旨を理解していただき、無事にイベントを実施することができた。

### <参加者の行動変容>

- 昨年度に実施した講座に参加できなかった方が今年度の海釣り自然塾の実施を楽しみにしていて、電話で問い合わせをくださった。
- はこだてOceansに参加した中学生が、小学生の兄弟が参加できるイベントがないかを質問してくれた。
- 教育者向け海釣り自然塾に参加した学童保育の支援員が、支援員資格者研修での地域連携の取組事例として、講座参加時のことを紹介してくださった。
- 実験的にSNSでの先行募集を行ったところ、学校へのチラシ配布までに募集定員を超える応募があり、SNSの注目度があがってきたことがわかった。
- 海の発信者育成に2年連続で参加した高校生が、この講座に参加したことを絵画で表現したところ、第61回高文連道南支部美術展の奨励賞受賞。
- 親子de海釣り自然塾に参加した親子が、イベント終了後にさっそく釣りに行った。
- 教育者向け海釣り自然塾に参加した学童保育で、児童を対象とした海釣り体験を企画してくれた。
- はこだて海洋教育推進会議に参加した教員が、海のコミュニケーターによる「海の授業」を見て、勤め先の学校の先生方に見せたいと問い合わせくださった。

## 二次的波及

▼第61回高文連道南支部美術展の奨励賞を受賞した作品



海の発信者育成に2年連続参加し、  
上記の絵画を描いた、齊藤優里さん▶





## ▼教育者向け海釣り自然塾に参加した学童保育が通所児童の家庭に出したお知らせ



学童からのお知らせ 2023/10/30

### 釣り体験

私たち幾名かのスタッフは、今期「日本財団 海と日本 project」の一環として活動している『はこだて海の教室』が主催する研修に参加いたしまして、より多くの子ども達に海を身近に感じてほしいという願いを引き継ぎました。

函館は海に囲まれた町です。日本海と太平洋の境であり、かつてはイカ、今は真昆布、そしてサーモンの養殖と、海の資源豊かな環境に居ます。アウトドアアクティビティとして釣りやサーフィンを楽しむ方もいます。

いままで学童では、どちらかといえば山でのアクティビティが占めていたのですが、今回は海のアクティビティとして釣りを体験してみる機会を設けたいと思います。

日時 11月の11日(土) 18日(土) 13:00~16:00

天候によっては中止(雨、時化するときなど)

対象 土曜コースの高学年

場所 函館港周辺の漁港(未定)

服装 ウインドブレーカー(シャカシャカ)上下 陸上より海は風が強い場合が多いです。

帽子(風で飛ばされないよう工夫をお願いします)

持ち物 水筒

以下はもしあればご持参ください。

- ・My釣り竿・釣り道具(仕掛け、錘、餌など)
- ・ゴーグルやサングラス(目の怪我防止)
- ・ライフジャケット



こちらは、全員分のライフジャケットと

数人分の貸出用の釣り竿、仕掛け、錘、餌などを準備して出かけます。